



1～2月に行われたイベントなどについてお知らせします



堂々と発表する学生

2月10日(月)、市の政策専門委員の牧瀬稔<sup>まさき しのぶ</sup>氏が准教授を務める関東学院大学(横浜市)法学部の地域創生学科の学生19名が、授業の一環として市へ政策提言を行いました。

参加した学生たちは、11月から市職員との意見交換や、市内での現地調査などを実施し、その成果をまとめた提言を、大嶋市長をは

関東学院大学法学部学生が政策提言



斬新なアイデアに感心する声も

じめ、約40名の職員を前に披露しました。

提言内容は、「三猿を模したフェイスパックの開発・販売」や「スポーツを通じた高齢者の社会参加」、「遠隔勤務ができるサテライトオフィス」の誘致、「市民向け市内旅行」など、学生の視点ならではの斬新な発想や、ユニークなアイデアが並びました。



第73回栃木県芸術祭奨励賞受賞の高山康夫さん(左)も民謡を披露

2月15日(土)・16日(日)、今市文化会館で2020年新春芸能発表会が開催されました。市文化協会今市支部ステージ部会員115組による日頃の活動の成果が披露され、来場者はカラオケや民謡、舞踊などのさまざまな演目を楽しみました。

今回は令和になって初めての開催となったため、新元号をお祝い

2月の新発表会

新春芸能発表会



美しい調べが響き渡る箏曲

するスペシャルステージも両日行われました。15日は「令和音頭」がカラオケで歌われる中、流派を超えて舞踊の先生方が舞を披露しました。

16日は子どもたちが、箏曲と日本舞踊、バレエ、ダンスを披露し、はつらつとした微笑ましい演技に、会場からは温かい拍手が送られました。



所作の一つ一つが美しい日本舞踊

湯西川温泉 かまくらまつり



かまくらの中で楽しいバーベキュー!

1月31日(金)～3月1日(日)、湯西川温泉の冬の風物詩「湯西川温泉かまくら祭」が開催されました。

このイベントは、「日本夜景遺産」に認定されており、夜は河川敷一面に並ぶミニかまくらにろうそくが灯され、幻想的な雰囲気を楽しむことができます。日中はそり遊びや、大きなかまくらの中でバーベキューなど、さまざまな雪遊び体験ができます。

暖冬の影響による雪不足のため、残念ながら水の郷会場のスノーパークは中止になってしまいましたが、平家の里会場や沢口河川敷会場では、ミニかまくらが点灯すると、カメラやスマートフォンを手にした多くの観光客などが、かまくらの仄かな光を楽しんでいました。



沢口河川敷のミニかまくら



### 日光鉢石宿のおひなさま

2月11日(火・祝)～3月3日(火)、日光街道の最終宿場町として栄えた鉢石宿を雛飾りで飾る、日光鉢石宿のおひなさまが今年も開催されました。15回を数えるこのイベントは、筑波大学の山澤まなみ准教授による講演会をはじめ、呈茶席、着せ替えおひなさま体験などが日光郷土センターで行われ、多くの来場者が訪れました。

22日(土)のおひなさまコンサートでは、マロニエトリオによるバイオリンやビオラ、ピアノの演奏で「テネシーワルツ」や「情熱大陸」など14曲が披露され、美しい音色に聴衆は酔いしれました。市内在住の飯見さんは「毎年、コンサートを楽しみにしています。特にタンゴの曲が素晴らしかったです」と笑顔で話していました。



演奏はもろちんトークも面白いマロニエトリオ



保育園児の作品を楽しむ子どもたち



「かわいいおひなさまへプレゼント!」



さまざまな時代の雛飾りが並ぶ郷土センター

### 日光街道今市宿牡丹室内庭園

2月15日(土)～24日(月・振休)、日光街道二二二本陣の多目的ホールで日光街道今市宿牡丹室内庭園が開催されました。

9回目を迎えた今回は、「日光の春」をテーマに約100種類、300鉢の牡丹が水車小屋や和傘などのオブジェとともに、ところ狭しと並べられました。

来場者は、「今市牡丹愛好会」の解説をカメラ片手に熱心に聞いたり、喫茶スペースでお茶を飲みながら牡丹を眺めたりと、それぞれに冬の花を楽しんでいました。

上三川町の益子さんは「冬に牡丹を咲かせるのは大変だと思えます。香りが良く、とてもきれいです。形や大きさもいろいろあって飽きませんね」と話していました。



多くの来場者でにぎわう会場



写真を撮って楽しむ来場者

